【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】令和3年1月28日(2021.1.28)

【公開番号】特開2019-115977(P2019-115977A)
【公開日】令和1年7月18日(2019.7.18)
【年通号数】公開・登録公報2019-028
【出願番号】特願2017-249786(P2017-249786)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　29/38　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/12　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　12/00　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　11/14　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　29/38　Ｚ
Ｇ０６Ｆ　3/12　３１７
Ｇ０６Ｆ　3/12　３２９
Ｇ０６Ｆ　12/00　５３１Ｍ
Ｇ０６Ｆ　11/14　６６１

【手続補正書】
【提出日】令和2年12月7日(2020.12.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１のアプリケーションと第２のアプリケーションを含む複数種類のアプリケーションを実行させることが可能なプラットフォームを提供する画像形成装置であって、
前記第１のアプリケーションの実行中にアクセスされる第１のデータ領域および前記第２のアプリケーションの実行中にアクセスされる第２のデータ領域が設けられた、データを保存するストレージと、
少なくとも前記第１のアプリケーションのプログラムおよび前記第１のアプリケーションの設定データを含む前記第１のデータ領域のバックアップデータと、少なくとも前記第２のアプリケーションのプログラムおよび前記第２のアプリケーションの設定データを含む前記第２のデータ領域のバックアップデータとを、前記画像形成装置の起動後かつ前記プラットフォームの起動前に取得する取得手段と、を備える
ことを特徴とする画像形成装置。
【請求項２】
前記複数種類のアプリケーションには、バックアップの実行を依頼するバックアップ実行依頼ファイルを含む第１の情報を作成する第３のアプリケーションが含まれ、
前記取得手段は、前記画像形成装置の起動後かつ前記プラットフォームの起動前に、前記第１の情報を検出したことに基づいて前記バックアップデータを取得する
ことを特徴とする請求項１に記載の画像形成装置。
【請求項３】
前記取得手段は、前記画像形成装置が起動することにより起動し、
前記プラットフォームは、前記取得手段が前記バックアップデータを取得した後に起動し、

前記プラットフォームが、前記複数種類のアプリケーションをそれぞれ起動させる
ことを特徴とする請求項２に記載の画像形成装置。
【請求項４】
前記プラットフォームおよび前記複数種類のアプリケーションがそれぞれ停止し、
前記プラットフォームは、前記取得手段が前記バックアップデータを取得した後に起動し、
前記プラットフォームが、前記複数種類のアプリケーションをそれぞれ起動させる
ことを特徴とする請求項２に記載の画像形成装置。
【請求項５】
取得された前記第１のデータ領域および第２のデータ領域のバックアップデータとバックアップの実行結果の送信を実行する送信手段をさらに備え、
前記送信手段は、前記プラットフォームおよび前記アプリケーションが起動された後に前記送信を実行する
ことを特徴とする請求項４に記載の画像形成装置。
【請求項６】
前記取得手段は、前記画像形成装置の起動後かつ前記プラットフォームの起動前に、前記第１のデータ領域および前記第２のデータ領域のバックアップデータをレストアする
ことを特徴とする請求項１乃至請求項５のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【請求項７】
前記複数種類のアプリケーションに含まれる第３のアプリケーションは、前記バックアップデータのレストアを依頼する第２の情報を作成し、
前記取得手段は、前記画像形成装置の起動後かつ前記プラットフォームの起動前に、前記第２の情報を検出したことに基づいて前記バックアップデータをレストアする
ことを特徴とする請求項６に記載の画像形成装置。
【請求項８】
前記取得手段は、前記画像形成装置が起動することにより起動し、
前記プラットフォームは、前記取得手段が前記バックアップデータをレストアした後に起動し、
前記プラットフォームが、前記複数種類のアプリケーションをそれぞれ起動させる
ことを特徴とする請求項７に記載の画像形成装置。
【請求項９】
前記プラットフォームおよび前記複数種類のアプリケーションがそれぞれ停止し、
前記プラットフォームは、前記取得手段が前記バックアップデータをレストアした後に起動し、
前記プラットフォームが、前記複数種類のアプリケーションをそれぞれ起動させる
ことを特徴とする請求項７に記載の画像形成装置。
【請求項１０】
前記プラットフォームは、仮想マシンであることを特徴とする請求項１乃至９のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【請求項１１】
前記プラットフォームは、Ｊａｖａ　ＶＭであることを特徴とする請求項１乃至１０のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【請求項１２】
前記第１のアプリケーションおよび前記第２のアプリケーションは、拡張アプリケーションであることを特徴とする請求項１乃至１１のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【請求項１３】
第１のアプリケーションと第２のアプリケーションを含む複数種類のアプリケーションを実行させることが可能なプラットフォームを提供し、前記第１のアプリケーションの実行中にアクセスされる第１のデータ領域および前記第２のアプリケーションの実行中にアクセスされる第２のデータ領域が設けられたストレージを備える画像形成装置の制御方法

であって、
前記画像形成装置の起動後かつ前記プラットフォームの起動前に、少なくとも前記第１のアプリケーションのプログラムおよび前記第１のアプリケーションの設定データを含む前記第１のデータ領域のバックアップデータと、少なくとも前記第２のアプリケーションのプログラムおよび前記第２のアプリケーションの設定データを含む前記第２のデータ領域のバックアップデータとを取得する工程を有する
ことを特徴とする画像形成装置の制御方法。
【請求項１４】
前記複数種類のアプリケーションに含まれる第３のアプリケーションにより、バックアップの実行を依頼するバックアップ実行依頼ファイルを含む第１の情報を作成する工程と、
前記画像形成装置の起動後かつ前記プラットフォームの起動前に、前記第１の情報を検出したことに基づいて前記バックアップデータを取得する工程と、を有することを特徴とする請求項１３に記載の画像形成装置の制御方法。
【請求項１５】
コンピュータを、請求項１乃至１２のいずれか１項に記載の画像形成装置が備える各手段として機能させることを特徴とするプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明の一実施形態の画像形成装置は、第１のアプリケーションと第２のアプリケーションを含む複数種類のアプリケーションを実行させることが可能なプラットフォームを提供する画像形成装置であって、前記第１のアプリケーションの実行中にアクセスされる第１のデータ領域および前記第２のアプリケーションの実行中にアクセスされる第２のデータ領域が設けられた、データを保存するストレージと、少なくとも前記第１のアプリケーションのプログラムおよび前記第１のアプリケーションの設定データを含む前記第１のデータ領域のバックアップデータと、少なくとも前記第２のアプリケーションのプログラムおよび前記第２のアプリケーションの設定データを含む前記第２のデータ領域のバックアップデータとを、前記画像形成装置の起動後かつ前記プラットフォームの起動前に取得する取得手段とを備える。